



SAP Ariba 

機能の概要

プロセスプロジェクトおよび質問事項向けの Supplier Data API with Pagination の機能強化

Balachandar Ponnusamy, SAP Ariba

一般提供予定: 2022 年 5 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

導入の難易度 ● ハイタッチ
対象エリア ● グローバル

説明: プロセスプロジェクトおよび質問事項向けの Supplier Data API with Pagination の機能強化

今までの課題

新しいモジュール式 [プロセスフレームワーク](#) の 2111 リリースにより、評価とその他のデータ収集アクティビティの両方でモジュール式質問事項を使用する際のお客様の柔軟性が向上しました。ただし、この機能を使用できるのは、ユーザーインターフェイスからのみでした。ビジネスプロセスの実現およびコンプライアンスについて新しい可能性を引き出すために、この機能を API から完全に使用できる柔軟性が求められていました。

SAP Ariba で問題解決

この機能では、バイヤーが新しいモジュール式プロセスフレームワークの設定を定義する際、データの取得、データの更新、および承認経路の開始を行うために Supplier Data API with Pagination でフレームワークを拡張することにより、柔軟性と創造性を大幅に向上させることができます。

主なメリット

- プロセス詳細、プロセス決定履歴、プロセス受入フォーム詳細、および質問事項詳細を取得します。
- プロセスプロジェクトの受入フォーム、およびプロセスプロジェクトに含まれるモジュール式質問事項の有効期限および期限を更新します。
- API を使用して行われた質問事項更新の承認タスクをトリガします。

対象ソリューション

SAP Ariba Supplier Lifecycle and Performance
SAP Ariba Supplier Information and Performance Management
SAP Ariba Strategic Sourcing Suite

関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的に有効になりますが、お客様が設定する必要があります。

前提条件と制限事項

詳細スライドを参照してください。

機能の概要

説明: プロセスプロジェクトおよび質問事項向けの Supplier Data API with Pagination の機能強化

前提条件

- SAP Ariba Supplier Information and Performance Management の場合、この機能には「新規アーキテクチャ」が必要です。サプライヤ管理プロセスフレームワークは、SAP Ariba Supplier Lifecycle and Performance および SAP Ariba Strategic Sourcing Suite でのみ使用可能です。
- プロセス受入フォームの回答 (有効期限、有効期限リマインダ、およびその他のカスタマイズした質問を含む) を更新するには、プロセスの状況が**決定待ち**または**決定済み** (承認済み、条件付きで承認済み、または拒否済み) である必要があります。
- モジュール式質問事項の有効期限を更新するには、モジュール式質問事項プロジェクトの状況が**承認済み**である必要があります。
- モジュール式質問事項の期限を更新するには、モジュール式質問事項プロジェクトの状況が**進行中**である必要があります。
- API を使用してプロセス受入フォームを更新する場合、バイヤーは、バイヤーが使用できるのは、**編集可能**な質問 (これには、商品分類、地域、または部門の受入フォームフィールドは含まれません) を更新するための API のみです。

機能の概要

説明: プロセスプロジェクトおよび質問事項向けの Supplier Data API with Pagination の機能強化

プロセス、受入フォーム、質問事項詳細、および決定履歴を取得する機能

これまで、バイヤーは、プロセス詳細、プロセス決定履歴、および質問事項詳細を表示する場合、サプライヤ 360° プロファイルに移動する必要があります。さらに、受入フォーム詳細については、バイヤーがサプライヤ 360° プロファイルで表示できるのは現在のバージョンに限定されています。

このたび、バイヤーは、Supplier Data API with Pagination を使用して、以下を取得できるようになりました。

プロセス詳細

```
vendorInfo: {
  smVendorId: "S10028001",
  erpVendorId: "VDR41050",
  anId: "null",
  acmId: "ACM_64"
}
processes: [
  {
    wid: "WS18603",
    title: "SM-ProcessFlow Intake Test",
    status: "AIn Progress",
    sourceSystem: "null",
    processId: "PI16039",
    startDate: "1642767514525",
    endDate: "null",
    projectOwner: "cnoll",
    matrixCriteria: {
      categoryList: [
        "71",
        "51"
      ],
      regionList: [
        "USA",
        "INDIA"
      ],
      departmentList: [
        "408",
        "1000"
      ],
      materialList: [
        0
      ]
    }
  }
],
count: 1
```

決定履歴

```
supplierName: "Supplier ACME",
processType: "Audit Process",
workspaceId: "WS14431154",
expiryDate: 1647592239266,
reminderDate: 1647073839267,
intakeFormDocId: "Doc14431159",
processOwner: {
  uniqueName: "jarvis",
  displayName: "Jarvis User",
  hierarchyPath: null,
  emailAddress: "abc@email.com"
}
decisionHistory: [
  {
    decisionMadeOn: 1646209839462,
    decisionMadeBy: "Jarvis User",
    decisionComment: "M3",
    processStatus: "Qualified",
    processStatusObj: {
      uniqueName: "Approved",
      displayName: "Qualified",
      hierarchyPath: null
    },
    decisionMadeByObj: {
      uniqueName: "Jarvis User",
      displayName: "Jarvis User",
      hierarchyPath: null,
      emailAddress: "abc@email.com"
    }
  },
  {
    decisionMadeOn: 1646209772987,
    decisionMadeBy: "Jarvis User",
    processStatus: "Conditionally Qualified",
    processStatusObj: {
      uniqueName: "AConditionally Approved",
      displayName: "Conditionally Qualified",
      hierarchyPath: null
    },
    decisionMadeByObj: {
      uniqueName: "Jarvis User",
      displayName: "Jarvis User",
      hierarchyPath: null,
      emailAddress: "abc@email.com"
    }
  }
]
```

複数のバージョンにわたる詳細

```
versions: [
  {
    versionId: 3,
    active: true,
    timeUpdated: 1645159731993,
    purgeState: null,
    lastTimePurgeStateUpdated: null,
    itemId: "7325",
    alternative: null,
    externalSystemCorrelationId: "KI_83610",
    processId: "PI22682",
    documentId: null,
    templateDocumentId: "Doc24008",
    searchTerm: null,
    answer: "All",
    enumerationCodeDelimiters: null,
    dataType: "String",
    multiValued: true,
    smVendorId: "S10040001",
    workspaceType: null,
    workspaceId: "WS24056",
    type: null,
    totalQuestions: "7",
    questionnaireLabel: "Intake form",
    questionLabel: "Category",
    answerType: "CommodityType",
    rootId: null,
    attachmentData: {
      fileName: "SMPProcessFlowType (2).csv",
      mimeType: "text/csv",
      fileContents: null,
      comment: null,
      downloadUrl: "http://localhost:8150/Sourcing/Main/ad/downloadSMAttachment/ariba_sourcing_dashboard_SMMainActionsController?realm=s4All6docId=Doc212736parentBid=AAAKAQXEYgBd&attachmentBid=AAAKANJEYgBr",
      fileSize: 176
    },
    commentData: null,
    certificateData: null
  }
]
```

機能の概要

説明: プロセスプロジェクトおよび質問事項向けの Supplier Data API with Pagination の機能強化

含まれている質問事項のプロセス詳細および有効期限と期限を更新する機能

これまで、バイヤーは、サプライヤ 360° プロファイルで、以下の方法でプロセス詳細および有効期限と期限を更新することができました。

- バイヤーは、プロセス更新時に受入フォームを更新することができます。意思決定者は、決定状況の作成または更新時に受入フォームを更新することもできます。
- バイヤーは、モジュール式質問事項の更新を依頼することができ、受信者は更新を提出し、有効期限をリセットすることができます。
- バイヤーは、モジュール式質問事項が終了する前に、モジュール式質問事項を再送信して期限をリセットすることができます。

このたび、バイヤーは、Supplier Data API with Pagination のエンドポイントを使用して、プロセスプロジェクトの受入フォーム、およびプロセスプロジェクトに含まれているモジュール式質問事項の有効期限と期限を更新できるようになりました。

有効期限の更新

1. `/questionnaires/{questionnaireId}` を使用して、モジュール式質問事項の有効期限または期限を更新します。

回答の更新

1. `/processes` エンドポイントを使用して、サプライヤのすべてのワークスペース ID を取得します。
2. `/processes/{wid}` エンドポイントを使用して、特定のプロセス受入フォームのドキュメント ID を取得します。
3. 要求本文でバージョン ID を指定せずに、`/versions` エンドポイントを使用して、最新バージョンの受入フォーム詳細を要求します。時間を遡るため、返されたバージョン ID に基づいて、受入フォームに含まれるバージョン数を把握することができます。
4. `/answers` エンドポイントを使用して、受入フォームの documentId (質問事項の場合) および KI_ID (更新対象の特定の質問の場合) を渡して受入フォームの回答を更新します。

有効期限の更新例

```
{
  "dueDate": "01/21/2023",
  "expiryDate": "03/29/2023",
  "comment": "sample updated ExpiryDate"
}
```

回答の更新例

```
{
  "answers":
    [{
      "externalSystemCorrelationId": "KI_10984163",
      "answer": "sample updated answer response"
    }]
}
```


機能の概要

説明: プロセスプロジェクトおよび質問事項向けの Supplier Data API with Pagination の機能強化

モジュール式質問事項に対する API 更新の承認タスクをトリガする機能

Supplier Data API with Pagination の /answers エンドポイントを使用して、モジュール式質問事項の回答を更新することができます。これまで、このような更新では、質問事項に対する承認タスクがトリガされませんでした。そのため、承認者が API ベースの更新を承認または却下する方法がありませんでした。

この機能により、/answers エンドポイントに対する POST 操作の JSON 要求本文に、新しいブール型属性 triggerApprove が導入されます。true を指定すると、要求で回答が POST されたモジュール式質問事項に対する承認タスクがトリガされます。API 更新によってモジュール式質問事項に対する承認タスクがトリガされると、状況が [承認待ち] に変更され、SAP Ariba の設定済み承認経路または外部承認プロセスが開始されます。

triggerApprove が false の場合、または、この属性が要求に含まれていない場合、指定された回答が要求によって自動的に更新され、承認タスクは開始されません。

以下の例は、新しい triggerApprove を含む要求本文を示しています。

```
{
  "answers": [
    {
      "externalSystemCorrelationId": "KI_9951113",
      "answer": "New answer"
    }
  ],
  "triggerApprove" : true
}
```

フォローをお願いします。



www.sap.com/contactsap

© 2022 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。

本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、関連プレゼンテーション、および SAP SE またはその関連会社の方針および予定されている将来の開発、製品、またはプラットフォームの方向性および機能は、すべて変更される可能性があり、SAP SE またはその関連会社は随時、理由の如何を問わずに事前の予告なく変更できるものとします。本書に記載された情報は、いかなる品目、コード、または機能の提供の確約、保証、または法的義務を表すものではありません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

SAP、ならびに本書に記載するその他の SAP の製品およびサービスは、そのそれぞれのロゴとともに、ドイツおよびその他の国々における SAP SE (または SAP 関連会社) の商標または登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知に関しては、www.sap.com/copyright をご覧ください。